

30. 沖縄県の産学官連携推進の場づくり

～「イノベーション沖縄 2006」 沖縄産学官共同研究開発成果合同発表会より～

1 沖縄産学官連携の場

2006年9月1日(金)、沖縄産業連携支援センター(沖縄県那覇市那覇市小禄1831-1)において「イノベーション沖縄 2006」が開催された。

このイベントは、様々な分野で研究開発及び産学官連携事業に取り組んでいる関係者及び関係機関が一堂に会し、沖縄における産学官関連事業の研究開発発表会と食料産業クラスター形成促進技術事業の紹介を目的とし、国や県が実施する産学官連携事業と経済産業省、文部科学省、農林水産省のクラスター及び内閣府が連携し、各プロジェクトの主催者が共催する形式で開催された。

なお、主催者は、沖縄産学官連携推進協議会¹、社団法人食品需給研究センター、財団法人沖縄県産業振興公社、沖縄ブロック地域科学技術振興協議会²、沖縄地域知的財産戦略本部、株式会社沖縄TLO、株式会社沖縄産業振興センターである。

1階ホール及び展示場を利用し行われ、1階ホールでは、①沖縄産学官共同研究開発成果発表会(1階ホール前方 10:20～16:45)、②食料産業クラスター形成促進技術フェア等(1階ホール後方 10:30～14:30)、③技術開発支援事業成果発表会(1階ホール後方 14:30～17:00)が開催され、展示場では①～③のポスター展示が開催された。

参加者は、主に県内企業、支援団体、研究者、行政関係者、学生など500名を超えた。

ここでは、食料産業クラスター促進技術対策事業の一環として行った、事業紹介、事例発表及びポスター展示の様子を中心にレポートする。

2 「主催者挨拶」と「キーノートスピーチ」

各イベント開催にあたり、総合開会式が1階ホールで行われ、主催者を代表し、財団法人 沖縄県産業振興公社理事長 牧野 浩隆氏、社団法人 食品需給研究センター専務理事 石井 正昭氏のご挨拶が行われた。

また、キーノートスピーチとして、奈良先端大学院大



(財)沖縄県産業振興公社 牧野理事長のご挨拶



(社)食品需給研究センター 石井専務のご挨拶



キーノートスピーチをされる奈良先端大学院大学 吉田先生

¹ 内閣府沖縄総合事務局、沖縄県、社団法人沖縄工業連合会、国立大学法人琉球大学

² 文部科学省科学技術・学術政策局地域科学技術振興室長、総務省沖縄総合、通信事務所次長、内閣府沖縄総合事務局(総務部長、農林水産部長、開発建設部長、運輸部長及び経済産業部長)、環境省九州地区環境対策調査官事務所長



技術開発シーズの紹介 (バイオエタノールの紹介)



ポスター展示会場の様子



会場参加者の様子



イベント会場受付

学 知的財産本部 助教授 弁理士 吉田 哲氏による基調講演が行われた。講演は「知財のキーワードは、DEAL！」と題し、現状の知財戦略の問題点を整理するとともに、第3の知的財産戦略となる Public Domain 戦略（開発した技術について積極的に情報を公開し、権利取得を放棄する代わりに、他人の権利化を阻止する戦略）の方法の紹介等が行われた。

3 食料産業クラスター形成促進技術フェア等

食料産業クラスターの関連事業の紹介及び沖縄や九州地域で行われている技術開発シーズが紹介された。

開会にあたり、内閣府沖縄総合事務局 農林水産部 食品流通課長 富田 育穂氏のご挨拶があり、その後、以下のテーマについて紹介及び発表が行われた。

-事業紹介-

- ①食料産業クラスター促進技術対策事業のご紹介
- ②産学官連携による食料産業等活性化のための新技術開発事業のご紹介
- ③食品機能性評価支援センターのご紹介
 以上 (社) 食品需給研究センター
- ④食品機能性研究センターの取組みと食品総合研究所の

業務内容

(独) 農研機構 食品総合研究所

- ⑤沖縄県における食料産業クラスター形成とクラスター協議会の設立について

沖縄食料産業クラスター協議会設立準備会

-技術開発シーズ紹介-

- ①沖縄におけるバイオマス研究の新展開－エネルギー作物からバイオエタノールと BDF の研究－
 琉球大学

- ②サトウキビ乳酸発酵飲料の開発

沖縄県農業研究センター

- ③沖縄の特産果実の機能性に着目した利用技術の研究
 (独) 農研機構 九州沖縄農業研究センター

4 ポスター展示

1 階ホールに隣接する展示会場において、沖縄産学官共同研究開発成果発表会、食料産業クラスター形成促進技術フェア等、技術開発支援事業成果発表会に関するポスター展示が開催された。

(文：(社) 食品需給研究センター 長谷川潤一)